

② 「地域課題解決」 枠 募集テーマ一覧

募集テーマ	増加する外国人観光客に対する 市内飲食店の多様な食文化・宗教的配慮への対応について
現状の取組と課題	本市では、富士山夢の大橋や大淵笹場などの観光地を訪れる外国人観光客が増加している。特に、朝夕の富士山撮影を目的とする来訪者が多く、本市での宿泊者数も増加傾向にある。 一方で、外国人観光客の嗜好や食文化は多様であり、ムスリムやベジタリアンなどへの対応について、市内飲食店の受入体制は十分とはいえない。 このため、外国人観光客が市内の飲食店を訪れても、食文化の違いから飲食ができず、コンビニエンスストアで食材を購入するケースも見られるなど、本市の名産品や特色ある食材の魅力を十分に活かしきれていないのが現状である。
実現したい未来	多様な食文化や生活習慣を有する外国人観光客が、本市に滞在し、市内を周遊する中で、安心して観光を楽しむことができる環境整備を図りたい。
スタートアップ等との協業イメージ ※以下記載以外にも、自由にご提案ください。	外国人観光客の多様な食文化や生活習慣の受入環境整備に向け、市内事業者・教育機関・観光団体などと協働で研究していく。 【本市の現状把握】 ・富士山観光交流ビューローの会員や富士商工会議所会員、富士本町・吉原商店街登録事業所などに外国人観光客の食に対するアンケートを実施し、各事業所で一番必要な物は何か調査する。 【食文化の研究・環境整備】 ・専門家に依頼し、ベジタリアン・ムスリムなど食文化の違いについての研修会などを実施し、市内事業者で共通の認識を得る。 ・専門家伴走のもと、市内代表飲食店で、外国人観光客の嗜好に合わせたメニュー開発、原材料選定、店内表示など環境整備を実施する。 【情報発信】 ・外国人観光客の嗜好に合わせたメニューを提供できる店舗を集めた、紙及び電子マップの作成。
アセット	・富士市交流観光課、富士山観光交流ビューロー、商工会議所、富士本町・吉原商店街とのネットワーク ・食文化セミナーの実施 ・各事業所へのヒアリングによる課題の掘り下げ ・ハラル・ベジタリアン等料理提供店であることの情報提供
イメージ写真	 

募集テーマ	持続可能な農業
現状の取組と課題	- 価格競争や生産コスト高騰により、生産者の経営環境は厳しい。 - 生産支援・競争力強化・ブランド力向上・販路拡大支援が必要。 - 2021 年から全国自治体では初となる、ほうじ茶のブランド化に取り組んできたが、民間活力を活用し更なるブランド力向上を図りたい。 - 担い手不足による農地の荒廃化。
実現したい未来	- 富士のお茶をはじめとする特産品の地産地消や積極的な PR により、認知度と消費量の向上。 - 地場農産物の生産支援と付加価値創出。 - 荒廃農地の農地としての再生。 - 担い手不足の解消。
スタートアップ等との協業イメージ ※以下記載以外にも、自由にご提案ください。	- 【ブランディング・販路開拓分野】 ・生産者の想いや産地の物語を掘り起こし、共感と呼ぶストーリーでブランド価値を高める事業 ・首都圏のセレクトショップや海外市場など、新たな顧客層にアプローチできる販路開拓の仕組み作り ・顧客と継続的な関係を築く新たな販売モデルの構築 ・富士市のお茶に合う特産品を活用した商品開発と販売 ・飲食にとらわれない、富士市のお茶を活用した画期的な商品開発や販売 ・富士市の特産品とスポーツを組み合わせた取り組み、商品開発 - 【体験デザイン・観光分野】 ・茶畑の景観や生産者との交流を活かした、五感で楽しむユニークな体験プログラムの企画 ・地域の飲食店や宿泊施設と連携し、特産品と地域の食・文化を組み合わせた周遊ツアーの造成 ・地域の空き家などを活用し、多くの人が集う「地場農作物」をテーマにした拠点づくり - 【新たな担い手と呼び込む「参入支援」分野】 ・新規就農希望者に対して、技術指導から事業計画の策定、販路開拓までを一体的に伴走支援するサービス ・高額な農機具を、必要な時だけ利用できるシェアリング・レンタルサービス ・富士市の休耕農地、荒廃農地を活用した農作物の生産活動 ・地元生産者や新規就農を目指す若者を雇用する農業法人の参入

アセット	・ 提案事業に関するヒアリング ・ 成果物の PR ・ 特産品の情報提供 ・ JA など市内民間事業者との連携 ・ 休耕農地、荒廃農地の情報提供 ・ 中間管理事業を活用した農地の貸借
イメージ写真	

募集テーマ	林業の担い手増加・人材育成
現状の取組と課題	・ヒノキ等の人工林の多くが利用期を迎えるも、木材価格の低下と施業コストの増加、労働環境等により林業の担い手が減少している。 ・林業就業者の高齢化等による施業能力、木材供給量の低下、重作業負担や労働災害の多さが課題。 ・担い手を増やすために、森林環境学習や林業体験、現場見学会を実施している。 ・労働災害の減少を目指して、安全装備品の購入や安全講習の受講等に対して補助金を交付している。
実現したい未来	1.林業が「稼げる・安全で・誇り高い」産業になる 2.持続可能な「スマート林業」を実現する
スタートアップ等との協業イメージ ※右記記載以外にも、自由にご提案ください。	【持続可能な森をつくる「スマート林業」分野】 ・広域な森林の状況を効率的に調査・分析し、適切な管理計画の策定を支援する事業 ・林業の現場作業における身体的な負担を軽くしたり、作業の安全性を高めたりする装備やシステムの開発 ・伐採された木材の生産履歴を追跡可能にし、需要と供給を円滑に結びつける流通の仕組みづくり 【新たな担い手を育む「人材育成・マッチング」分野】 ・「林業に関心がある人々」と「地域の林業事業者」を繋ぎ、短期的な林業体験から本格的な就業までを支援する事業 ・林業の仕事の魅力や社会的な意義を、若者や未経験者にも分かりやすく伝え、林業への関心を高める情報発信やイベントの企画 ・多様な働き方のニーズに応える、副業や兼業、週末林業といった新しい形での林業への関わり方の提案・創出 【稼げる林業を支える「経営支援」分野】 ・中小規模の林業事業者の事務負担を軽減する、使いやすい経営管理・販売管理・工程管理の仕組みやサービスの提供 ・複数の林業事業者が連携して、資機材の共同購入や木材の共同販売を行うことを支援する仕組み
アセット	・富士市林政課、富士市森林組合などの林業事業体、民間事業者とのネットワーク ・提案事業に関するヒアリング ・市保有山林の借用
イメージ写真	

募集テーマ	介護サービス事業所における介護人材の確保と生産性向上について
現状の取組と課題	(取組) - 学生に対し、介護職の魅力発信事業を実施している。 - 介護未経験者や復職希望者に対し、研修と就労サポートを実施している。 - 人材の確保・定着を図るため、介護職に係る研修費の補助を行っている。 - 通所介護事業所の共同送迎の検討を行っている。 (課題) - 介護需要の増大が見込まれる一方で、介護の担い手が不足している。 - 介護サービス事業所における従業員の過不足感においても、多くの事業所が不足感を抱えている。 - 若手介護職員の確保・定着が難しく、将来的な担い手不足が懸念されている。 - 通所介護事業所においては、送迎業務の負担が大きく、その効率化が課題となっている。
実現したい未来	- 介護職員数が安定的に確保されている。 - 若手介護職員の採用・定着が進んでいる。 - 事業所における人材育成が円滑に進む環境が整っている。 - 通所介護事業所における共同送迎の運用モデルが構築されている。
スタートアップ等との協業イメージ ※以下記載以外にも、自由にご提案ください。	【人材育成・人材定着】 - オープンカンパニーを行い、現役の若手スタッフと話せる機会を創出するなど若手・未経験者等が参入しやすい仕組みづくりを支援（広報、情報発信、マッチング支援等） - 介護職員の育成や定着につながる支援（研修開発、相談窓口設立等） 【業務の効率化・省力化】 - 最適化されたルートで複数施設を回る、通所介護事業所における共同送迎の運用モデル案の構築支援。 - 音声入力を活用した、介護記録などのアナログ業務のデジタル化のように、介護現場の業務効率化や生産性向上につながる支援。
アセット	- 市内介護サービス事業所とのネットワーク。 - 介護保険課が有する制度・現場課題に関する知見。 - 共同送迎に関する既存の検討資料・課題認識。

募集テーマ	社会全体での少子化対策の推進
現状の取組と課題	・令和6年の出生数の急激な減少を危機ととらえ、令和7年度に市若手職員による「少子化対策緊急タスクフォース」を設置し、政策提言をまとめた。この政策提言に基づき、令和8年度当初予算において、様々な分野から施策を実施している。 ・しかし、行政だけの取組では限界があり、民間ならできること、民間でなければできないこともあることから、産業都市である本市の強みを活かし、少子化対策を官民一体で推進することが課題。
実現したい未来	・持続可能なクリエイティブな産業の集積・成長によって働く人も企業もウェルビーイングな状態となり、まち全体が未来に向かって進み、富士山のように存在感のあるまち ・その実現に向け、次の3つのプロジェクトを軸に、官民それぞれの立場で推進していきたい。 ① 子育て当事者である従業員の不安や負担を軽減し、次のライフステージに希望をもって進むことができる「わくわく！ライフ＆ワーク」応援プロジェクト ② 従業員にやさしい職場環境を創り、企業価値の向上・持続可能な経営への転換につなげる「ほっかほか！あたたかい職場」共創プロジェクト ③ 子育てをみんなで楽しみ、社会全体の幸せとして共有し、より良い都市イメージを創る「にこにこ！みんなでハピネス」共感プロジェクト ・参考市HP ○令和7年度少子化対策の取組について https://www.city.fuji.shizuoka.jp/1023050000/p007737.html ○富士市こどもの未来創造アクション2026 https://www.city.fuji.shizuoka.jp/1023050000/p007747.html
スタートアップ等との協業イメージ ※以下記載以外にも、自由にご提案ください。	①【「わくわく！ライフ＆ワーク」応援プロジェクト】 ・多忙な子育て世帯の親に時間と心のゆとりをもたらす、行政手続きのスマート化 ・妊娠・出産・育児の心配を軽減するアプリ、相談支援サービス、家事代行・送迎サービスなど ・子育てにメリットやお得を感じるサービス（育児補助ポイント等） ②【「ほっかほか！あたたかい職場」共創プロジェクト】 ・タスク・スキルシェアリングシステムで職場内での突発的な休みもスムーズにカバーできる体制づくり ・「業務引き継ぎスケジュール」や「家事育児のタスク分担」を可視化するクラウドツールで育休を取りやすい会社へ ・復職前の不安を払拭するための事業者と子育て世代のニーズのマッチング（一時預かり、病児保育、送迎などの生活支援サービスとマッチング等） ・従業員エンゲージメント向上（働きやすさ診断ツールの提供、離職防止・定着サービス、福利厚生パッケージなど）

	③【「にこにこ！みんなでハピネス」共感プロジェクト】 ・サードプレイスコミュニティや子育てフレンドリーマップなど社会全体で子育てを応援していることがわかる取組 ・こどものセキュリティ対策やモビリティ確保など、こどもの QOL 向上 ・各プロジェクトの魅力を伝えるブランディング、マーケティング
アセット	・富士市こども未来課、その他事業担当課 ・課題の掘り下げ、市ができること、民間に期待することの整理（データ提供、ヒアリング、壁打ちへの協力） ・市庁内全体及び関係部署とのコンセンサス形成（富士市こどもの未来創造本部会議の活用） ・協働・連携事業パートナーとして市からの情報発信を通じたイメージ向上